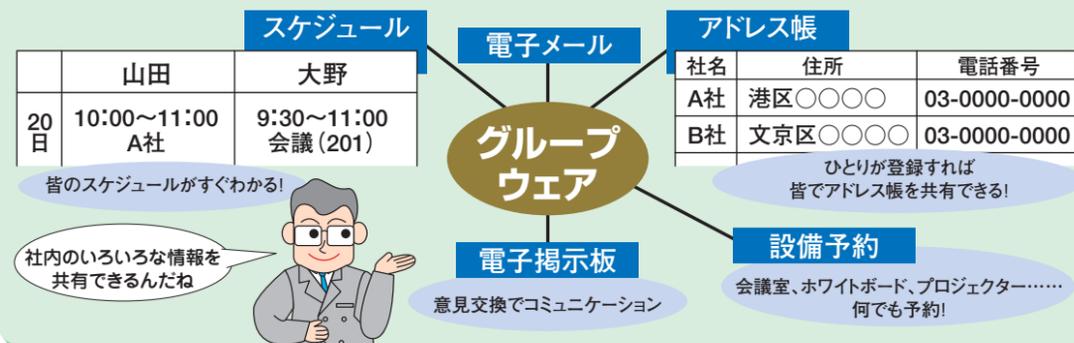




グループウェアでできること



様々な情報が共有されることで、時間効率は各段にアップするのである。こうした「情報共有」を進め、時

間を有効に使うためのツールがグループウェアと呼ばれるソフトウェアである。

グループウェアはスケジュールや設備予約などの情報を一カ所にまとめ、一人ひとりのパソコンから見たり書きこんだりできる仕組みだ。パソコン上で社員同士の意見交換を行える電子会議室や得意先アドレス帳など、数種類の機能がセットになっている製品が多い。

従業員のパソコンが社内ネットワーク(LAN)でつながっていれば、導入も簡単である。現在発売されているグループウェアは利用方法によって大きく二つに分けられる。①製品を購入する方法と②サービスを利用する方法だ。その違いを整理しておこう。

社内のLANがあれば、今使っているサーバー(皆のデータを保管するパソコン)にソフトをセットする(イ

製品を購入

サーバー

- 社内内で自由に使える
- ランニングコストが安い
- インターネット回線に障害が起きても支障がない

サービスを使う(ASP)

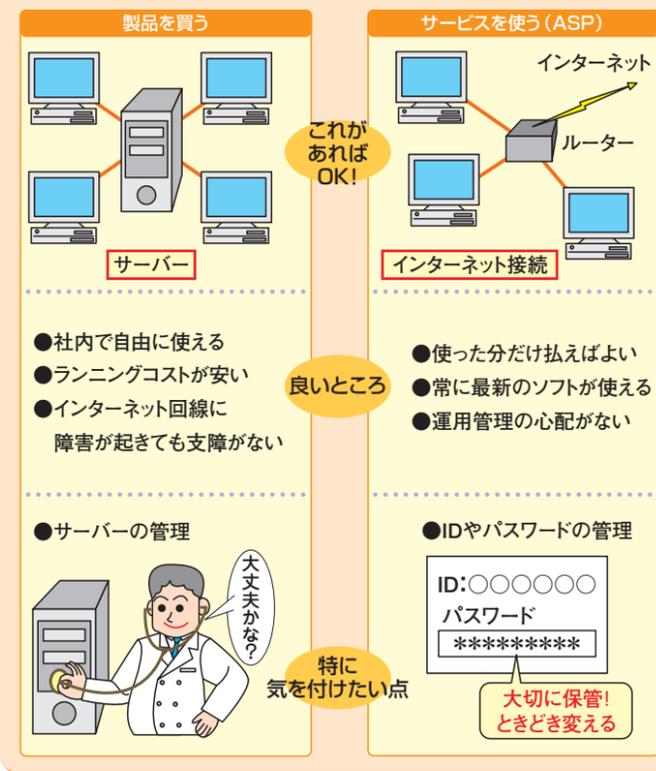
インターネット接続

- 使った分だけ払えばよい
- 常に最新のソフトが使える
- 運用管理の心配がない

ID:〇〇〇〇〇〇
パスワード:*****

大切に保管! ときどき変える

グループウェアの利用法



時間の無駄遣いが見えるのは他のメンバーの行動予定が見えないから。各人のスケジュールという「情報」がわかるだけで、会議時間の設定など、いとも簡単にできてしまうはずだ。つまり、従業員や会社に関する

知るほど 効率上がる

社内には、「本業」に直結しない雑務がたくさんある。例えば会議日程の調整。メンバーに都合を聞いて回ったら、外出者が一人いて決定は明日に。翌朝その人の日程が合わないとかわり再度調整を試みると今度は別のメンバーが外出していた……。日程はなかなか決まらないうし、世話人の勤務時間が調整業務のためにどんどん使われていく。1年分集計したらいったい何時間に、そして金額に換算したらいくらかになるのだろうか?

本業以外のことに時間がどんどん使われている...

会議時間調整

会議室予約

業務中断

また業務中断

本業が進まない

スケジュール

グループウェアを使うと!

時間を大幅に短縮できる!

グループウェアで「時間」を買う!



社員同士の行動予定が見えるだけで、仕事の進行は見違えるほどスムーズになる。パソコンだからこそできる新しい情報共有システムがグループウェアである。グループウェアのメリットと製品動向を紹介する。